



## 池田 和隆 (依存性物質プロジェクト)

ikedakz@igakuken.or.jp, 03-6834-2390

### 依存性物質の作用機序解明とその医療応用

#### 連携先

新潟大学 大学院 医歯学総合研究科 先端分子病態学分野

(その他、慶應義塾大学・東京大学・東京歯科大学・順天堂大学など)

#### キーワード: 薬物依存・鎮痛・発達障害・うつ病・神経精神薬理学

依存性物質は諸刃の剣

##### <疼痛>

麻薬性鎮痛薬感受性個人差の遺伝子メカニズムを解明して、テーラーメイド疼痛治療の実現を目指します。

##### <AD/HD、うつ病>

モデル動物を用いて治療薬の作用機序を解明します。

##### <依存>

患者にとっても社会にとっても深刻な問題である薬物依存について、分子レベル、動物レベル、ヒトレベルでメカニズムを解明して、治療の向上に繋がります。

##### <依存性物質>



依存、疼痛、発達障害、うつ病の予防法と治療法の改善を目指す、人に役立つ研究に挑戦する大学院生の皆様をお待ちしています

#### 発表論文

Ide et al. *Biol Psychiatry* 84: 551-552 (2019)

Kotajima-Murakami et al. *Mol Brain* 12:3 (2018)

Nishizawa et al. *Pharmacogenomics* 19: 113-127 (2018)

Fujita et al. *Mol Brain* 10:49 (2017)